

1. 授業の概要(ねらい)

「仏教文学研究 観音・地蔵を中心に」。
仏教の思想と歴史を学ぶ。
といっても間口が広いので、広く親しまれている観音と地蔵というキャラクターについての文献を読んだり、また画像を鑑賞することを通じて、仏教的な発想とはどんなものか、中国・日本文化への影響・浸透をどうか、などを考える。
後期は主に地蔵について紹介する。

2. 授業の到達目標

- ・仏教的な発想や用語、またその歴史を学ぶ。
- ・人間にとって宗教とは何なのか、を考える。

3. 成績評価の方法および基準

学期末の試験、7割。
随時的小テスト(進度を確認するのが真目的)、3割。

4. 教科書・参考文献

教科書

プリントに作って配布する。

参考文献

『岩波仏教辞典第2版』2002年

源信 『往生要集 上』 岩波文庫ほか

源信 『往生要集 下』 岩波文庫ほか

井上 靖 『星と祭 上』 角川文庫

井上 靖 『星と祭 下』 角川文庫

宮沢 賢治 『ひかりの素足』 新潮文庫注文の多い料理店収載ほか 偕成社

5. 準備学修の内容

前回の内容をノートなどでよく復習し、自分のものにして次の授業に臨むこと。

6. その他履修上の注意事項

受け身的な姿勢でなく、積極的な学習態度を期待する。

7. 授業内容

- 【第1回】 仏教・大乘仏教(復習)
- 【第2回】 「観音」という名称～原語と翻訳について
- 【第3回】 観音像の形～「六観音」
- 【第4回】 観音信仰の現場(2)琵琶湖北の「観音の里」と井上靖『星と祭』
- 【第5回】 『西遊記』と観音～中国の観音像
- 【第6回】 観音の国土と「補陀落渡海」
- 【第7回】 地蔵菩薩概説～地獄の救済者、末法思想について
- 【第8回】 地獄について(1)中国説話文学に見える冥府の世界
- 【第9回】 中国の地獄観～『冥京図像』 中国冥府の特色
- 【第10回】 地獄について(2)源信『往生要集』について
- 【第11回】 日本の地蔵説話(1)～『今昔物語』巻17前半から 講読
- 【第12回】 日本の地蔵説話(2)～『今昔物語』巻17後半から 講読
- 【第13回】 地獄映画 中川信夫、石井輝男、宮藤官九郎
- 【第14回】 『賽の河原地蔵和讃』と宮沢 賢治『ひかりの素足』
- 【第15回】 まとめ～救済者ということ